

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 28 日 (2021.10.28)

【公開番号】特開 2020-2376 (P2020-2376A)

【公開日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)

【年通号数】公開・登録公報 2020-001

【出願番号】特願 2019-164497 (P2019-164497)

【国際特許分類】

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/61 (2018.01)

C 0 9 D 5/10 (2006.01)

C 0 9 D 7/63 (2018.01)

【F I】

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 7/61

C 0 9 D 5/10

C 0 9 D 7/63

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 9 日 (2021.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

鋼材と、前記鋼材の表面上に形成された塗膜と、を備え、

前記塗膜は、

酸化カルシウム、水酸化カルシウム、酸化ストロンチウム、及び水酸化ストロンチウムからなる群より選択される少なくとも 1 種の化合物の粒子、並びに、

金属硫酸塩の粒子を含み、

前記金属硫酸塩の水 100 g に対する溶解量は 5 において 0.5 g 以上であり、

前記塗膜の厚みは 25 μm 以上であり、

前記化合物の粒子の平均粒径は 17 μm 以下であり、前記金属硫酸塩の粒子の平均粒径は 17 μm 以下であり、

前記化合物の粒子の含有量は、前記塗膜の全量を基準として、0.10 ~ 50.0 質量 % であり、

前記金属硫酸塩の粒子の含有量は、前記塗膜の全量を基準として、0.05 ~ 30.0 質量 % である、被覆鋼材。

【請求項 2】

前記塗膜は、乾燥膜厚 100 μm において、300 g / ($\text{m}^2 \cdot 24 \text{ h}$) 以下の透湿度を有する、請求項 1 に記載の被覆鋼材。